



The Kokuga Sosaku Kyokai: Celebrating the Centennial of Its Birth

1. 土田麦僊《大原女》1927(昭和2)年 京都国立近代美術館

創立100周年記念

# 国画創作協会の全貌展

2018年11月3日[土]-12月16日[日]

前期展示: 11月3日~11月25日 後期展示: 11月27日~12月16日 会期中、一部作品の展示替えを行います。

生ル、モノハ  
藝術ナリ

## ● プレス向け内覧会のご案内 11月2日(金) 12時30分~13時30分

プレス関係者を対象に内覧会を実施いたします。ぜひ、この機会を利用してご取材いただき、「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

和歌山県立近代美術館

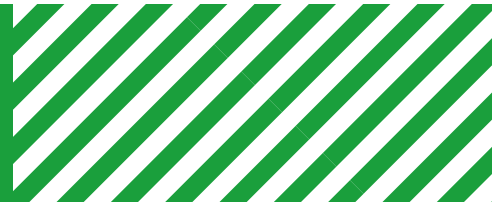
〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>

## 創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

2018年11月3日(土)～12月16日(日)



### 1918-1928 京都 日本画の革新

のながせばんか おのちつきょう つちだぼくせん むらかみかがく さかきばらしほう こくがそうさくぎょうかい  
野長瀬晩花、小野竹喬、土田麦僊、村上華岳、榊原紫峰という5人の日本画家が1918（大正7）年に京都で国画創作協会を創立して、今年で100年を迎えます。「生ル、モノハ藝術ナリ」と宣言し、既存の価値観にとらわれない自由な創作を目指した彼らは、野心的な作品の数々をその展覧会（国展）で発表します。若い彼らの創意あふれる作品は注目を集め、国画創作協会は革新的な美術団体としての地位を築くことになりました。

この特別展は、1993（平成5）年に東京と京都の国立美術館で開催されて以来、25年ぶりとなる国画創作協会の回顧展です。重要文化財の村上華岳《日高河清姫図》をはじめとし、現存が確認される国展出品作を中心とした約90点により、近代絵画史に名を残す国画創作協会の全貌を紹介いたします。

### 関連事業

#### ● 記念講演会

##### ①「近代絵画史における国画創作協会の意義」

【日時】11月4日(日) 14時～15時30分

【講師】上園四郎（笠岡市立竹喬美術館館長）

##### ②「大阪の「茶話会」と大正期の日本画壇－国画創作協会と連動したか－」

【日時】12月8日(土) 14時～15時30分

【講師】橋爪節也（大阪大学文学研究科教授）

##### ③「国展の画家が愛した紀州」

【日時】12月15日(土) 14時～15時30分

【講師】藤本真名美（和歌山県立近代美術館学芸員）

\*各回とも、2階ホールにて、13時30分開場、先着120名、聴講無料

#### ● フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

【日時】11月10日(土)、12月9日(日) いずれも14時～15時

\*展示室にて、要観覧券

#### ● 体験アート・ワークショップ「晩花のふるさとを訪ねて」

【開催日・場所】11月24日(土) 田辺市中辺路町近露周辺にて

【講師】黒田真里（日本画家）

【主催】特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会(wacss)

【助成】和歌山県文化振興事業補助事業

【後援】和歌山県教育委員会、ニュース和歌山株式会社

\*詳細は、073-454-5858(wacss)までお問合せください。

#### ● こども美術館部「ボクラ・コウサク・キョウダイ・ノ・ヘンソウ」(小学生対象の鑑賞会)

【日時】12月1日(土) 11時～11時45分 \*10時20分～11時に要受付、展示室に同伴される保護者は要観覧券

#### ● だれでも美術館部（みんなでお話をしながら作品を楽しむ鑑賞会）

【日時】12月1日(土) 14時～14時45分 \*展示室にて、要観覧券



後列左より：中井宗太郎（顧問）、榊原紫峰／中央：野長瀬晩花／前列左より：村上華岳、小野竹喬、土田麦僊



※文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

## 主な出品作品



2. 土田麦僊《舞妓林泉》  
1924 (大正 13) 年  
東京国立近代美術館  
\* 前期展示



3. 小野竹喬《春耕》1924 (大正 13) 年  
笠岡市立竹喬美術館



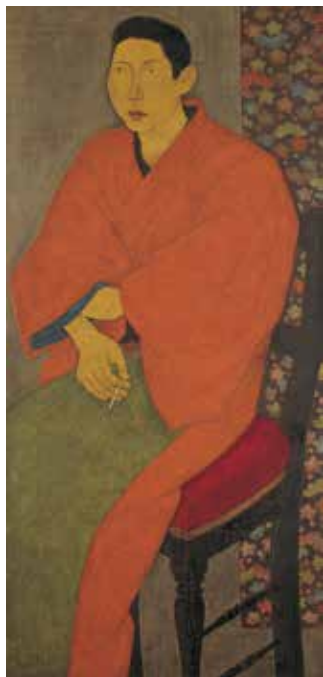
4. 村上華岳《日高河清姫図》  
1919 (大正 8) 年  
東京国立近代美術館  
\* 重要文化財



5. 榎原紫峰  
《奈良の森》  
1920 (大正 9) 年  
京都市美術館



6. 野長瀬晩花《初夏の流》1918 (大正 7) 年 京都市美術館



7. 玉城末一《宇吉》  
1926 (大正 15) 年 京都市美術館



8. 甲斐庄楠音《舞う》1921 (大正 10) 年  
京都国立近代美術館  
\* 後期展示



9. 入江波光《臨海の村》1919 (大正 8) 年  
福田美術館開設準備室



10. 岡本神草《口紅》  
1918 年 (大正 7) 年  
京都市立芸術大学芸術資料館

## 開催概要

会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
主催	和歌山県立近代美術館、朝日新聞社
特別協力	京都国立近代美術館、京都市美術館
助成	一般財団法人 地域創造
会期	2018年11月3日(土)～12月16日(日)
開館時間	9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休館日	月曜日
観覧料	一般800(640)円、大学生500(400)円 * ( )内は20名以上の団体料金 * 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 * 11月22日は「和歌山県ふるさと誕生日」として入場無料 * 11月24日は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

### 【同時期開催】

コレクション展 2018-秋冬

和歌山ゆかりの作家たち

特集 国展の版画

【会期】10月30日(火)～12月24日(月・祝)

【会場】2階展示室

### 和歌山県立近代美術館

学芸担当：藤本・宮本 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>